

RouteMagic

RouteMagic Server

RMS Version 2.2.3

リリースノート

- 2003/03-



はじめに

本書の目的

本書は、RouteMagic Server（以下 RMS と記述）Version 2.2.3 に関して、Version 2.1 からの変更点を中心に記述しています。RMS バージョン 2.2.3 は、RMS バージョン 2.2 をベースとしています。RMS バージョン 2.2.3 の基本的な機能ならびに操作方法に関しましては、下記の RMS 2.2 対応版マニュアルをご参照ください。

RMS Version 2.0.x をご利用の場合は、「RMS Version 2.1 リリースノート」も併せてご覧ください。

本リリースの動作環境

RMS Version 2.2.3 は、Version 1.1.2 以上のソフトウェアが搭載された RMC に対応しています。ただし、一部の機能は RMC に搭載されるソフトウェアが Version 2.0.0 以上であることが必要です。RMC Version 1.1 との互換性に関しては、「RMS Version 2.0.4 リリースノート、"RMS Version 1.0 から Version 2.0 への変更点"」をご覧ください、必要な場合は RMC ソフトウェアのアップグレードを行ってください。

関連ドキュメント

RMS には本書の他に、次のドキュメントが用意されています。

- **RouteMagic Server ユーザーズ・ガイド –管理者編–**
RMS システム、及び RMS を利用するネットワーク管理システムの運用に責任を持つ方を対象として、RMS を利用する際に必要な初期設定と管理作業を記述しています。
- **RouteMagic Server ユーザーズ・ガイド –オペレータ編–**
ネットワーク管理・監視の担当者として RMS を利用する方を対象として、RMS の機能とその操作に関して記述しています。
- **RouteMagic Server インストール・ガイド**
Linux に関する基礎知識をお持ちの方を対象として、Linux サーバ上への RMS のインストールと初期設定作業に関して記述しています。旧バージョンの RMS からの移行に関しても本ドキュメントをご参照下さい。
- **RouteMagic Server プラグイン・ユーザーズガイド**
RMS プラグインの機能とインストール作業について記述しています。
- **RouteMagic Server メンテナンス・ガイド**
RMS システムを導入されたユーザに必要な、日常のメンテナンス作業について記述しています。

目次

1. RMS Version2.2 の変更点	1
1.1 プラグイン機能のサポート	1
1.2 その他の仕様変更	2
1.3 問題点の対応と操作性の改善	2
2. RMS Version2.2.3 の変更点	3
2.1 日本電気株式会社 IP8800/700 シリーズの解説メッセージに対応	3
3. 既知の問題点／制限事項	4

1. RMS Version2.2 の変更点

RMS Version2.2 では、Version2.1.から次のような機能強化が行われています。なお、Version2.0.X から Version2.1 への変更点等に関しては、「RMS Version2.1 リリースノート」に記載されています。Version2.1 以前の RMS をご利用の方は、こちらを併せてご参照ください。

1.1 プラグイン機能のサポート

RMS Version 2.2 では、各種のネットワーク機器を RMS 対応製品として管理するためのプラグインがサポートされています。この機能追加に伴い、「RMS 全体の管理」のライセンス情報にプラグイン対応表示が加わりました。（下図参照）

全体の設定	
バージョン番号	2.2.0
管理者メールアドレス	admin@outrek.co.jp
管理者パスワード	*****
管理者パスワード(確認入力)	*****
RMS 定期タスクの実行時刻	毎日 12:00 時
オプション	
<input checked="" type="checkbox"/> RMSから送信するメールでも管理者にも送る	
<input checked="" type="checkbox"/> トポロジーマップの検索結果を詳しく取得(レポート用)	
RMCの台数	
RMSで認識しているRMC台数	7
オーナーに割り当て済みのRMC台数	7
オーナーに所属していないRMC台数	0
ライセンス情報	
状態	無期限のライセンスです。
RMS ユーザー名	Administrator
RMS プロダクトID	999-9999
プラグイン数	100 (24 消費)
インストール済みプラグイン	Cisco ルーター Cisco IOSスイッチ Cisco スイッチ Extreme
Cisco IOSサポート	あり
Cisco スイッチサポート	あり

※ Cisco 製品対応のプラグインは、RMS インストール時にデフォルトでインストールされます。

プラグインのインストールによって以下のような機能が拡張されます。プラグインの機能とご利用に関する詳細は、各装置に対応する「RMS プラグイン・ユーザズガイド」をご参照ください。

- ◆ 装置種別名の追加
- ◆ 装置種別の自動認識
- ◆ 装置種別固有のインシデント管理
- ◆ 装置種別固有の定石コマンド
- ◆ 装置種別固有のヘルスチェック
- ◆ トポロジーマップ表示用アイコン
- ◆ 日本語のメッセージ解説データ

1.2 その他の仕様変更

1. NetworkInfo メールの処理

プラグインと RMC のスクリプト機能強化に伴い、不完全な NetworkInfo メールを受信した際のヘルスチェック表示が変更されました。ヘルスチェックの受信記録が表示されない、あるいは受信日時以外の項目にハイフン（“-”）のみしか表示されない場合は、次の事項を確認してください。

- “装置イベントログ”の確認

監視対象装置のパスワード設定誤りなどによりコマンドが実行できなかった場合や、装置情報収集のコマンドが正常に実行されなかった場合、“装置イベントログ”にエラー情報が記録されます。（例：前回との show ip route 比較は show ip route に有効な情報がないため空の結果になります。）ログの内容を確認し、必要な対処を行ってください。

- RMC 設定情報の確認

監視対象装置と接続されている RMC のスクリプト定義がマッチしていない、あるいは監視対象装置のログインパスワード設定が誤っている可能性があります。RMC の設定を確認してください。

2. RMS 強制終了オプションの追加

RMS Version2.2 から、RMS を強制終了させるオプション “--force” が追加されました。

```
/etc/init.d/rms stop --force
```

この機能は、何らかの原因で通常の RMS 終了コマンド (/etc/init.d/rms stop) では、RMS プロセスが正常に終了しなかった場合に使用します。

1.3 問題点の対応と操作性の改善

1. 配信スケジュール表示の問題点の対応

IE6.0 以外のブラウザを利用した場合、配信スケジュールの“月間の全スケジュール一覧”が表示されなかった問題を修正。

2. 定石コマンド発行時の操作性改善

「インシデントに関連する定石コマンド発行」の実行後、通常の「定石コマンド」発行画面に移行してしまい、“インシデント”関連メニューが使用不可となってしまう不具合を修正。

3. 装置メッセージハンドリングの問題点を修正

装置メッセージに<>で囲まれる文字列が含まれていた場合、その文字列が表示されなかった不具合を修正

4. オペレータ削除時の問題点の修正

オペレータを削除しても、当該オペレータの配信スケジュールが削除されず、メールを配信してしまう不具合を修正。

5. ライセンス数管理の問題点の修正

監視対象装置を削除したにもかかわらず、ライセンス消費数が減らなかった不具合を修正。

2. RMS Version2.2.3 の変更点

RMS Version2.2.3 では、Version2.2.2 から次のような機能強化が行われています。

2.1 日本電気株式会社 IP8800/700 シリーズの解説メッセージに対応

RMS Version 2.2.3 では、日本電気株式会社の L3 スイッチ IP8800/700 シリーズの日本語解説メッセージ表示に対応しています。


詳細につきましては、「RouteMagic Server IP8800 プラグイン ユーザーズガイド」もご参照ください。

3. 既知の問題点／制限事項

1. ファイル、ダウンロード時の誤動作

使用している Web ブラウザのバージョンによっては、レポートデータなどのダウンロード操作が正常に実行されず、HTML ドキュメントが出力されてしまう場合がある。

- ⇒ Web ブラウザの問題ですが、ブラウザのバージョンアップなどの対応が困難な場合は、以下の操作によって対応して下さい。

Work around : ダウンロード時に、 のクリック機能を使用せず、マウスの右クリック操作によって「対象をファイルに保存」を選択します。

ファイルの種類が Microsoft Excel CSV ファイル、もしくは XML document となり、CSV または XML 形式のファイルが出力されます。

2. CSV ファイルの処理における制約事項

レポート情報を CSV ファイルとしてダウンロードし、これを表計算ソフトや DB ソフトでオープンした場合、情報が正しく表示されず、データの一部がカットされてしまうことがある。


- ⇒ この問題は、コマンドの実行結果、オペレーションログなど、データの 1 アイテムが長文の場合に発生します。1 アイテムの長さが、処理すべきソフトウェア側で収容可能な最大長や表示限界をオーバーしてしまったために発生する問題ですので、他のツールをご使用ください。

(処理、あるいは表示可能な最大値は、ご使用のソフトウェアに依存します。)

3. トポロジーマップ表示上の問題点

トポロジーマップ表示において、使用しているブラウザの種類、および JavaVM のバージョンなどの動作環境要因によって、マップが正しく表示されず、グレイアウトの画面が表示される、もしくは一部の装置が表示されないという現象が発生する場合がある。

- ⇒ 対応検討中。

Work around : 画面サイズの変更が行われるような操作 (例えば、 (最大化) をクリック) を行ってください。トポロジーマップが正常に表示されます。

4. 定石コマンド発行時の問題点

接続されている RMC の設定が "コマンドを発行しない" となっているにもかかわらず、監視対象装置に対するコマンド発行が実行されてしまう。

- ⇒ コマンド発行は正常に実行されないため、エラーが通知されます。

「RMS からのアナウンス」または「装置イベントログ」に "装置 はコマンド発行をしない設定になっています" が表示されます。コマンドの発行結果はいずれかで確認してください。

製品に関するお問い合わせ

製品に関するお問い合わせやテクニカルサポートについては、下記の弊社サポートページをご覧ください。

<http://www.routrek.co.jp/support/>

また、製品に関する最新情報やマニュアルも上記ページからダウンロードすることができますのでご参照ください。

Copyright©2003 株式会社 ルートレック・ネットワークス All rights reserved.
このマニュアルの著作権は、株式会社 ルートレック・ネットワークスが所有しています。
このマニュアルの一部または全部を無断で使用、あるいは複製することはできません。
このマニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。

Copyright©2003 株式会社 ルートレック・ネットワークス All rights reserved.
RouteMagic Server の著作権は、株式会社 ルートレック・ネットワークスが所有しています。
このソフトウェアの一部または全部を無断で使用、あるいは複製することはできません。
このソフトウェアは、使用許諾契約書に記載されている以外の使用はできません。
このソフトウェアの仕様は、予告無く変更されることがあります。

商標について

ルートレック・ネットワークスのロゴおよび RouteMagic は、株式会社 ルートレック・ネットワークスの登録商標です。
Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft 社の商標です。
本書に記載されている製品名等の固有名詞は、各社の商標または登録商標です。



株式会社ルートレック・ネットワークス
〒213-0011 神奈川県川崎市高津区久本3-5-7 ニッセイ新溝ノロビル
Tel. 044-829-4361 Fax. 044-829-4362